

令和8年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時

令和8年6月6日（土）10時00分～12時00分

2 会場

静岡県立浜松湖東高等学校 小会議室

3 出席者

学校運営協議会委員

会 長 小泉 正嗣 様

副会長 岩崎 敏之 様

委 員 神間 智博 様、鈴木 恵子 様、竹本 澄生 様、松澤 隆通 様

学校

校長、副校長、教頭、事務長

4 協議事項

(1)令和7年度学校評価結果について

校長から令和7年度学校評価結果について説明があった。

重点目標である「確かな学力の育成」「生徒支援の充実」「教職員研修の推進」については、概ね良好な結果となったことが報告された。

また、朝読書に関する生徒評価が向上した要因として、図書DX課による電子新聞や電子書籍の活用など、読書環境の充実が挙げられた。さらに、学校公式Instagramのフォロー数が3,000人を超え、学校の教育活動や生徒の様子を積極的に発信していることが紹介された。

委員からの意見

- ・ 校舎は老朽化しているものの、校内は整理整頓されており、教育環境の維持に努めていることが感じられる。
- ・ 教職員の日常的な努力が学校の落ち着いた雰囲気につながっている。
- ・ 生徒の様子が落ち着いており、良好な学校運営が行われている。

(2)施設設備の老朽化について

校内視察を踏まえ、施設設備の老朽化について意見交換を行った。

委員からの意見

- ・ 昇降口の手すりの腐食が進行している。
- ・ 生徒が手すりでけがをする危険性がある。
- ・ 雨漏り箇所も見受けられ、安全面で懸念がある。
- ・ 生徒の安全確保のため早急な対応が必要である。

学校からの説明

事務長より、昇降口手すりについては平成30年度から修繕要望を継続して提出していること、鉛含有塗料等の調査や予算上の制約により改修に至っていないことが説明された。また、現在も継続して県教育委員会へ予算要求を行っていることが報告された。

協議結果

学校運営協議会として、生徒の安全確保の観点から、施設設備の改善について県教育委員会へ要望を行うことを確認した。

(3)令和８年度学校経営計画について

校長から令和８年度学校経営計画について説明があった。

フェアトレード活動については継続しつつ、これまでの成果を基盤として新たな探究活動へ発展させる方針が示された。また、教職員の働き方改革についても重点項目として位置付けることが説明された。

(4)探究活動・フェアトレード活動について

フェアトレード活動を中心とした探究活動について意見交換を行った。

委員からの意見

- ・ 生徒が主体的に活動している点が評価できる。
- ・ コーヒー焙煎や販売活動は本校の特色となっている。
- ・ タイとの交流事業は教育的効果が高い。
- ・ 地域イベント等への参加を通じて、学校の魅力発信につなげてほしい。
- ・ 地域団体や行政との連携をさらに進めてほしい。

校長からは、今後も地域との連携を深めながら探究活動を発展させていきたいとの考えが示された。

(5)進路状況について

校長から令和７年度卒業生の進路状況について説明があった。

四年制大学進学率は約 66％であり、聖隷クリストファー大学、常葉大学、静岡理工科大学など地元大学への進学実績が高いことが報告された。また、公務員講座の成果により、国家公務員、地方公務員、自衛隊等への合格者が増加していることが紹介された。

委員からの意見

- ・ 進路選択の早期化が進んでいるため、高校１年生の段階から進路意識を高める取組が重要である。
-

(6)学校再編・統廃合に関する意見交換

校長から、少子化による生徒数減少や定員割れ校の増加など、県立高校を取り巻く現状について説明があった。

委員からの意見

- ・ 地域から必要とされる学校づくりが重要である。
 - ・ 探究活動など本校独自の特色をさらに発展させるべきである。
 - ・ 地域とのつながりや同窓会との連携を強化し、学校の魅力向上につなげてほしい。
-

５ 承認事項

令和８年度学校経営計画について審議を行い、原案どおり承認された。